



COCO
Community & Cooperative

No.58

2024年8月8日
発行所 / COCO湘南
〒252-0804 藤沢市湘南台 7-32-2
Tel:0466-46-4976
Fax:0466-42-5767
発行者 / 小川泰子

COCO湘南のHP

www.cocoshonan.org/



尊厳ある生涯を求めて

NPO法人 COCO 湘南
理事長 小川泰子



2024年5月31日、特定非営利活動法人COCO湘南の第26回総会を終えました。

設立から25年、この間の社会の変化は想定をはるかに超える国内外の状況に、私たちの暮らしは老後不安ばかりか、子どもを産み育てることも、何らかの障害をもって生きることも、若者がその未来を拓く環境も、誰もが不安ばかりが大きくなる社会の中にいます。

「誰一人取り残さない」を求めて日本の社会保障制度は国民一人ひとりの合意形成の下誕生し、世界でも高く評価される制度として今日まで続いています。そして、高齢・少子社会の人口構造を世界が注視する「常に先頭」を走り、その失敗と成功に各国が国家政策を考える貴重な「データ」となっています。

しかし、当の日本において、国民の合意形成によって生まれた社会保障制度は今、「保障のない制度」へと展開していることにあらゆる世代の命が不安を増大させている状況にあります。

当法人設立者の西條節子さんが遺された多くの文書の中には常に「尊厳ある生涯を求めて」というメッセージが込められています。高齢者だけのことではなく、全ての命に思いを馳せてのものです。そのためには「自立と共生」という基盤が不可避であるというメッセージでもあります。

本来、日本の社会保障制度は「自立と共生」の仕組みのはずです。2024年度の社会保障制度改革は、介護保険制度、医療保険制度、そして障害福祉制度のトリプル改定となりました。しかし、社会保障というにはあまりにも市場経済競争の視点が強く、「自立と共生」を実現する自助も、共助にも、その手段を見つけることができない、公助からも「切り捨てられるの？」と思うほどのものです。

グループリビングCOCO湘南台にお住まいだった方が4年余りにわたる闘病（胃がん）生活の末、我が家であるCOCO湘南台でその生涯を閉じられた時書かれた「地域に生きて、住みなれた家で終わりたいー尊厳ある生涯を求めてー」を改めて読み直して、今思うのです。「夢のよう」な話、だけど、実現できた事実記録。だったら今、何をしたらいいのか？

「おひとりさま」の言葉の生みの親である上野千鶴子さんが、“その人の思いに最期まで寄り添うキーパーソン”と話されていたことを思い出します。

グループリビングのコンセプト「自立と共生」は、互いをキーパーソンとする「自助と共助」の仕組みです。残る「公助」よ！しっかり役割を果たしてください！

第26回通常総会を開催しました

NPO法人COCO湘南の「第26回通常総会」が 5月31日（金）、COCO湘南台において開催されました。本人出席が15、委任状による出席が10の合計25で、正会員総数の過半数となり、本総会は有効に成立しました。

まず、小川泰子理事長による開会の挨拶がありました。続いて第1号議案から第6号議案まで厳粛に審議され、満場一致で可決、承認されました。

また、ご多忙のなか、駆けつけてくださいました立憲民主党の衆議院議員 阿部知子氏より来賓の挨拶がありました。第26回通常総会は盛会裡に終えることができました。



来賓 阿部知子氏



小川理事長

2023年度事業報告

1 会員数 (3月31日現在)

	正会員		賛助会員	
	個人	団体	個人	団体
2022年度	37	4	35	4
2023年度	37	5	33	4
会計人数	26	4	20	3

2 グループリビング入居状況

1) 居住者の状況 (3月31日現在)

	湘南台	備考
2022年度	6名	
2023年度	8名	居住期間平均 5.57年
退去	1名	2023年10月
入居	3名	2023年5月、2024年1月、3月
平均年齢	85.1歳	最年少 76歳 最年長 92歳

ショート入居 2023年11月22日～29日 (1人)

2) 居住者ミーティングの開催

居住者による生活上の問題や行事についての話し合いの場として毎月定例で開催しました。

3) 地域交流事業の開催

居住者と地域の高齢者を対象に絵画、俳句、編物などの「趣味の会」が市民パートナーにより定期的に開催されました。(熱中症対策のため、8月9月は一部の開催を見送り)

4) 中西茂雄高齢者福祉基金による講演会・勉強会の開催

「高齢者共同居住の安心体制づくりー自分らしさを尊重する暮らしの実現に向けてー」をテーマに講演会を兼ねた勉強会を開催しました。

第1回勉強会

テーマ : 個・孤の時代の高齢期ー誰もがおひとりさまになる社会
 講師 : 沢村香苗氏 (日本総研)
 日時 : 2024年1月25日 (木) 19:00～20:00
 開催方法 : オンライン (zoom)、動画 (YouTube) をメールで配信
 参加者 : COCO湘南関係者、グループリビング運営協議会関係者

第2回勉強会

テーマ : 自分らしさを尊重しながら、あたりまえの生活を送るための支援～ホームホスピスの取組みから～
 講師 : 市原美穂氏 (NPO 法人ホームホスピス宮崎)
 日時 : 2024年3月3日 (日) 10:10～12:00
 開催方法 : 現地開催、オンライン開催 (会場: COCO湘南台) 動画 (YouTube) をメールで配信
 参加者 : COCO湘南関係者、グループリビング運営協議会関係者、その他興味のある人

第3回勉強会

テーマ : 『身寄り』問題の解決に互助の力で挑む
 講師 : 芝田淳氏 (NPO 法人やどかりサポート・NPO 法人つながる鹿児島)
 日時 : 2024年3月15日 (金) 19:00～20:30
 開催方法 : オンライン (zoom)、動画 (YouTube) をメールで配信
 参加者 : COCO湘南関係者、グループリビング運営協議会関係者

5) 住まいの交流会の開催

- 7月 8日 バーベキュー（法人主催）
- 7月14日 お茶会（法人主催）
- 10月15日 小山明子氏講演会
- 12月28日 忘年会（居住者主催）

6) 環境整備について

快適で安全な住環境を保てるよう以下の改修および定期点検等を実施しました。

1. 江野理事による2B、2C、2階食窓の網戸補修(4/15.16)
2. 外部業者(サクライ)による2Cフローリング日焼け等修繕(4/21)
3. 外部業者(サクライ)による2Bフローリング日焼け等修繕(4/28)
4. 湘南宮繕協会による2C退去後のクロス張替えおよびハウスクリーニング(4/25.28)
5. 江野理事による2C照明と棚の修繕(5/13)
6. 湘南宮繕協会による2Cエアコン分解洗浄(5/18)
7. JCOMによるインターネット不具合修繕(7/5)
8. 江野理事による庭の草刈り(7/29)
9. おそうじ本舗による2D退去後のハウスクリーニング(10/23.31)
10. COCO湘南スタッフによる共用部大掃除(12/9)
11. おそうじ本舗による2B試泊使用後の簡易ハウスクリーニング(12/21)
12. 湘南宮繕による1C洗面水栓の修繕(1/25)
13. 江野理事による勝手口手摺りの設置(1月末)
14. すみれ防災による消火設備定期点検(4月・10月)
15. パナソニックエレベータによる定期点検(4月・10月)

3) 理事会の開催

事業計画及び活動予算の執行に関する事項、日常業務に関する事項等法人運営に係る事項について、以下の通り計8回オンラインによる理事会を開催し、審議しました。

第132回理事会(7月26日)

1. 収支報告
2. 水光熱費料金について
3. キッチン湘南について
4. 中西茂雄高齢者福祉基金給付決定
5. ライフサポーターの勤務時間見直しについて
6. 通帳の整理について

第133回理事会(10月24日)

1. 収支報告
2. 入居基準について
3. 中西茂雄高齢者講師選定と会議日程について
4. 組織図について
5. 食事体制について
6. 時給改定について
7. 料金改定について

第134回理事会(12月13日)

1. 収支報告
2. 中西茂雄高齢者講師選定と会議日程について
3. 食事体制について
4. 今後の運営について

第135回理事会(1月27日)

1. 収支報告
2. 中西茂雄高齢者講師選定と会議日程について
3. 食事体制について
4. 管理費の値上げについて
5. 入居契約書の変更について、居住者に説明したことを報告
6. TV/NET/電話回線の費用の件
7. 今後の運営について

第136回理事会(2月26日)

1. 収支報告
2. 中西茂雄高齢者講師選定と会議日程について
3. 入居契約書の変更
4. BSアンテナの件
5. 今後の運営について

第137回理事会(3月29日)

1. 収支報告
2. 2024年度事業計画(骨子)案
3. 中西茂雄高齢者福祉基金報告書作成について
4. 入居契約書の内容確認
5. BSアンテナの件
6. 今後の運営について

第138回理事会(4月22日)

1. 中西茂雄高齢者福祉基金事業報告まとめについて
2. BSアンテナの件
3. 総会準備
4. 今後の運営について

第139回理事会(5月13日)

1. 決算報告
2. 総会議案書について
3. 総会準備
4. 中西茂雄高齢者福祉基金事業報告終了

4) 情報発信

1) 新パンフレット・500部印刷

配布先：正会員、賛助会員、その他関係者

2) 会報第56号(6月30日発行)500部印刷

配布先：正会員、賛助会員、各市民センター、行政機関、関係団体等
内容：第25回通常総会の報告

3) 会報第57号・1月1日発行500部印刷

配布先：正会員、賛助会員、各市民センター、行政機関、関係団体等
内容：居住者の生活・スタッフの紹介、小山明子氏講演会報告、バーベキュー報告、お茶会報告、韓国YWCA視察報告

4) ホームページによる発信

グループリビング(以下「GL」に略)の暮らしの紹介とともに法人組織や活動に関する最新情報を提供しました。

5) COCO湘南見学対応

GLの理解を深めてもらう目的でGLに興味がある方、将来の住まいの選択肢として知りたい方、設立を目指している方等を対象に見学者対応をおこなしました。

見学(合計12人) 6月：横浜市2人、8月：横浜市1人、9月木更津市1人、11月：アメリカ1人、12月富士宮市1人、1月：相模原市1人、藤沢市1人、3月：世田谷区1人、藤沢市1人、4月：調布市1人、藤沢市1人
視察 9月28日 韓国YWCA視察(10名)

6) 学生等の研修の受け入れ

次世代を担う若者たちに「自立と共生」の暮らしを学んでもらう機会となるようCOCO湘南の講師による研修を例年COCO湘南台で開催していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、藤沢市立看護専門学校に講師が向向き、GLの紹介と講義を行いました。
9月16日 藤沢市立看護専門学校3年生 51名 講師：土井原理事

7) 取材・調査協力

6月26日 第一生命経済研究所 研究員 来訪。

9月22日 奈良県立大学 教授 大分大学 准教授 来訪。

10月4日 関東学院大学 教授、学生1名 来訪。

2024年度事業計画

- ① 1999年開設のグループリビングCOCO湘南台が設立当初考えていたことは、現在の社会状況、社会保障制度のあり方とマッチングしなくなってきました。26年目を迎える2024年度、その意味を「住まい方」として見直し、体制づくりに着手します。
- ② 「食事」についての支援体制に取り組みます。
- ③ 国内外の住まい・住まい方を知る企画（当事者交流を中心に）
 1. 多様な住まい事業の現状と課題を知る機会を創り、サロン形式で地域の人や外部の専門家の情報も共有できるようにし、多様な「当事者参加」の機会をつくります。（国内のグループリビング関係者等を中心に）
 2. グループリビングを支えるコミュニティワーク形成の検討をします。
- ④ 「これからの住まい・住まい方を考える会（仮称）」の設置
 1. 「おしゃべりサロン」「カルチャーサロン」等々、子供、若者、子育て世代、高齢者等の「出会い」と「つながり」の機会をつくり、地域の心地よい自立（距離感）と共生を考え合います。
 2. COCO湘南台の居住者の生活文化の地域への発信、及び地域住民や会員との交流の場づくりを実施します。
 3. 高齢者とのコミュニケーションの価値を地域に伝えるとともに、若者、子供への生活技術・文化の継承を目指します。
- ⑤ 終末や死後の対応についての意向を整理する機会やコミュニケーションをゆたかにするための機会を設けるために中西茂雄高齢者福祉基金の助成金を申請する予定です。
- ⑥ 広報活動
 1. ホームページ等のネット情報発信の充実をはかります。
 2. 会報を年2回発行します。
- ⑦ 政策提言活動
今の日本社会が抱える「住宅問題」に対し、NPO法人COCO実践を踏まえ、社会への問題提起、政策提言等を行います。この取り組みは全国のグループリビングとの連携をはかります。
- ⑧ 経営の安定
社会状況にあわせて、以下の協議を継続します。
 1. 入居状況の安定をはかります。そのための広報・営業活動を理事会議等で戦略化します。
 2. 毎月の事業決算・外部監査を実施します。また、居住者への経営の透明性と説明責任を果たします。
 3. 正副代表者及び事務局との情報共有をはかり、問題解決対応を迅速に行います。
 4. 外部法人との事業連携の検討と実験的取り組みをします。
- ⑨ 当法人理事者が経営する事業所との法人連携を検討し、当法人の事業経営の安定と居住者支援体制のためのネットワーク化を模索します。
 1. 設備整備等修繕については（株）湘南堂繕協会との協議で2024年度中に修繕計画を立案します。
 2. 軽微な修繕はその都度迅速に取り組みます。
 3. 新たな事業への取組みについて常に情報ネットワークを強化し、法人事業規模と経営の持続性のはかります。
 4. 会員拡大を目標100名とします。

役員等選出

定款に定める役員の規定に基づき選出します。なお、会長の役割は、監事を含めて役員相互により決定するものとします。

理事長	小川 泰子	社会福祉法人いきいき福祉会理事長	COCO 湘南前理事長	再任
副理事長	土井原 奈津江	慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員	COCO 湘南前副理事長	再任
理事	江野 隆介	株式会社里山	COCO 湘南前理事	再任
理事	菅原 健介	(株)ぐるんとびー代表 理学療法士	COCO 湘南前理事	再任
理事	伊藤 彰浩	(株)MEDI TRAIN 代表 理学療法士	COCO 湘南前理事	再任
監事	野田 周吾	(株)湘南ビジネスマネジメント代表取締役	COCO 湘南前監事	再任



“自立と共生”テーマのある面白い家に暮らして

COCO 湘南台 居住者
熊澤 淑 (居住歴19年)

家の住み替えを考えていた頃、かつての同僚に街で偶然出会った。その時「西條さんが面白い家をつくっているから見に行ったら」という話が出た。

面白い家といっても、いろいろある。形が面白いとか、色が面白いとか。私は興味シンシンで早速見学に行った。その結果、私の予想は見事にはずれ「自立と共生」というテーマのある家であった。家にテーマがあるとは面白いと、早速入居することにした。それが「COCOたかくら」であった。新築であったということも入居を決心させる要因であったと思う。

「COCOたかくら」に入居してからは、生活者（COCOで暮らす人）は1か月に1度「自立と共生」について西城先生のお考えをうかがい、それを中心に話し合いをもって、このテーマについての理解を深めていった。

そんなことが1年間くらい続いたころであったらうか。西條先生より「私の代行として関西に行ってきてほしい」という話があった。先生の代行など思ってもいなかった。私は即座にお断りした。しかし、先生のプッシュは強く、私が退院して間もなくで、体力もついていないからとひたすらお断りをしてもだめだった。とうとう亀井里江子さん（現ライフサポーター）と2人で関西に行くことになってしまった。自信がない私は、関西に行く前に再度先生をお尋ねした。その時、先生は「“自立と共生”を生きることによって、人生の着地点を少しでも先に延ばすことができたらね」としみじみとした口調でおっしゃった。先生はこのテーマについて常に考え願っていらっしゃるのだと感じ、入居したことの幸せをしみじみ感じた。

あれからもう10年余りの歳月が流れた。私は「COCO湘南台」の中で作品を制作し、展覧会にも出品したりして生活してきている。作品だけを見ている友達は「あなたのアトリエは広くていいわね」と羨ましがっているが、大きい作品を制作する時は食堂や事務室をアトリエに、丈の高い作品を制作する時は吹き抜けのある食堂をアトリエにと、「COCO湘南台」の建物中を使い制作しているのである。それは小川理事長や大江前理事長の芸術に対する深いご理解と生活者の方々のご理解と我慢のおかげ様と常に感謝している。





長谷川勝巳さん (80歳)

私が60歳半ばに母が亡くなり、先の身の振り方を考え始めた時に、毎日新聞の“超高齢社会に備える”というシリーズのなかに他の施設とともにCOCO湘南台の紹介があり（2008年11月）私はそれをスクラップした。

その後、同種の記事のスクラップは増えていったが、まだ踏み出す決心はできなかった。

飛んで昨年、80歳になってようやくぐずぐずしている場合ではないと気持ちに鞭打って行動を開始した。何よりも独居故の終末で迷惑をかけたくなかった。

そして、アポもとらず第一候補のCOCO湘南台を見に行っただけのつもりが、丁度来られた土井原副理事長と森田サポーターの案内を受け、その後は持ち前の深く考えない性格と2階からの眺めが気に入って、間もなく契約に至った。

入居して5カ月になるが、我々を支えてくださる皆さんのおかげで快適に過ごしている。5月に開かれた総会でそれを実感した。

また、近くの遊水池は気持ちを晴れ晴れとしてくれるし、図書館やスーパーが近いのもありがたい。

が、さて、これで人生の問題すべて解決とはいかない。これから人生の最後に至る準備を考えなければならない。

私の目下の息抜き（24時間息を抜いている…）は、読書（漱石を好む）、TVでの野球観戦、旅行、映画（黒澤作品のファン）です。ちなみに酒はほとんど飲みません。まあ健康です。



小泉桂子さん (83歳)

福祉畑を歩んできました。障がいを持つ子供たちと“誰が生徒か、先生か”に始まりました。私の子育てが終わり、再び社会に出た頃、新たな老人福祉が叫ばれていました。元気のいい高齢者は働いて生きがい！頼もしい老人パワーに出会いました。そして介護保険法成立、訪問ヘルパーに。病に臥す高齢者の方々と、共に泣き、笑い、歌をうたったこともありました。それぞれ大切な出会いでした。今では懐かしく思い出されます。

70歳からは地域のボランティアと趣味を始めました。そんな中、コロナウイルス発生。外出もままならず自分と向き合う時間が。今からでも、どこかに私の居場所があるのでは…と目に留まったのが「自立と共生」を掲げるCOCO湘南台でした。自然環境も生活環境も良好で落ち着いて生活できるのではと決めました。

まずは転ばないように、しっかりと大地を踏みしめて、ゆっくりと歩いて行こうと思っています。

高 齢 者 グ ル ー プ リ ビ ン グ 普 及 活 動 2023年

- 1月25日 「個・孤の時代の高齢期」 沢村早苗氏（日本総研）講演会をオンラインで実施しました。
- 3月3日 グループリビング10周年記念イベントをCOCO湘南台で開催しました。「自分らしさを尊重しながら、あたりまえの生活を送るための支援～ホームホスピスの取組みから～」市原美穂氏（ホームホスピス宮崎）の講演会を実施しました。
- 3月15日 『身寄り』問題の解決に互助の力で挑む」 芝田淳氏（NPO法人やどかりサポート・NPO法人つながる鹿児島）の講演会をオンラインで実施しました。

編集後記

老人クラブは高齢者の当事者同士の活動であるから、グループリビングに似ている。全国の老人クラブでは近年会員数の減少が課題となっている。ところが藤沢市にはこの10年間に会員数を2倍にした老人クラブがある。そこでは、部会（コーラスやノルディックウォーキングなどの活動グループ）が会員の意見を聞きながらつくられている。役員や部会長（リーダー）たちは、いつもどんなことをしたら、みんなが喜んでくれるかと考えているという。役割については、それを得意としている人にさりげなく振っているようだ。役割を振られ部会長や班長になった人達は、知り合いが増えるなど地域のつながりがより広がったことや、責任ができたことで生活に張りがでてきたという。当事者のニーズに沿った支援、みんなを喜ばせようとする気持ち、得意を生かした役割の付与がこの老人クラブの成長につながっているのだと感じた。（な）

編集
小川泰子
土井原奈津江
森田いづみ